

日本株式市場の動向と今後の見通しについて

作成日 2024年8月6日

日本株式市場は2024年7月11日の高値更新後、8月1日から5日にかけて大幅に下落しました。株式市場が大幅に下落した要因として、7月31日に日銀の政策金利の引き上げによる日米の金融政策の方向性の違いから円高が進行したことや、米国で発表された経済指標が市場予想を下回り、景気先行きの不透明感が高まったことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことが引き金となりました。

日本株式市場は過去最大の下げ幅

- 日経平均株価は5日の終値が31,458円と前日比4,451円安、年初来で▲6.0%となりました。6日は大幅に下落した銘柄を買い戻す動きとなり、前日比3,217円高の34,675円で取引を終えました。
- 8月2日に米労働省が発表した7月の雇用統計が市場予想を超え悪化したことから米国景気の先行きへの懸念が高まり米国株式市場は下落しました。その影響を受け、5日の日本株式市場は景気に敏感な半導体関連株や銀行株などを中心に売られる展開となり、全面安となりました。また、リスク回避姿勢の動きから、債券相場は急上昇（金利は低下）、円高が進行しました。
- 日経平均株価の下げ幅は過去最大だった1987年の米ブラックマンデー翌日を越え、下げ率も歴代2位となりました。

今後の見通し

- 日本株式のバリュエーション面での割高感は解消され、今後も大規模な自社株買いの出動等が期待されます。米国の利下げを市場が織り込み長期金利は急低下しているため、住宅市場などへのプラス効果が期待できます。したがって、景気後退観測はやや行き過ぎと考えています。日銀の追加利上げに対する警戒感が弱まれば、為替市場も徐々に落ち着きを取り戻すと予想しています。
- 数日におよぶパニック的な株価の下落により、投資家のリスク許容度は低下したと考えられます。従前のような上昇相場への回帰には一定程度の時間を要すると思われるますが、株価のボラティリティ低下により、株式市場の回復に向かうと考えられます。

※8月6日の米ドル/日本円レートは、日本時間午後4時の数値を使用しています。

※上記は過去の実績および弊社の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

出所：ブルームバーグ、ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

＜ご留意事項＞

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権・その他一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。

日経平均株価と米ドル/円の推移



明治安田アセットマネジメント

明治安田アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会